

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	東北ゴム株式会社		
事業所の名称	東北ゴム株式会社		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港一丁目1番12号		
主たる事業	ゴム製品製造業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>当社は(工場内が)きれい!(地球に)やさしい!(社会に)よろこばれる!のスローガンのもと、以下の項目に取り組み、環境負荷の低減に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電力、重油、蒸気等エネルギー使用量削減 2. 資源の有効活用 3. 化学物質排出量削減 4. 社員教育による環境マインドの醸成 		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019年度	基準排出量	3,655 t-CO ₂	基準原単位	1.369
	目標年度	2022年度	目標排出量	3,545 t-CO ₂	目標原単位	1.327
			削減率	3.00%	削減率	3.06%
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020年度	排出量	3,432 t-CO ₂	排出原単位	1.489
			削減率	6.10%	削減率	-8.77%
	排出量等の増減理由	活動量の減少から温室効果ガスの排出量は減少した一方、一部非効率的な生産活動になった面もあり、原単位は悪化した。				
	第2年度	2021年度	排出量	3,369 t-CO ₂	排出原単位	1.303
			削減率	7.82%	削減率	4.82%
	排出量等の増減理由	一部製品の市場撤退、コロナ禍の長期化等による影響から活動量は減少し、それに伴い温室効果ガス排出量も減少した。				
	第3年度	2022年度	排出量	3,263 t-CO ₂	排出原単位	1.181
削減率			10.72%	削減率	13.73%	
排出量等の増減理由	製品構成の変化等によって生産重量は減少傾向となり、温室効果ガス排出量は減少した。					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	72%	目標年度	93%
	第1年度	90%	実施状況の説明等	「環境ニュース」にてECOドライブを全従業員に啓蒙実施。
	第2年度	97%	実施状況の説明等	「環境ニュース」にてカーボンニュートラルに向けて30のアクション!を全従業員に啓蒙実施。
	第3年度	97%	実施状況の説明等	「環境ニュース」にて全従業員に節電を呼びかけ、家庭で実施できる節電メニュー、方法を周知した。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	外部機関による省エネ診断		未実施
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	再熱除湿運転回避		実施済
	外気冷房		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		一部実施済
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	商品や原料輸送時の省エネ		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		一部実施済
エコドライブ教育実施		一部実施済	
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	日立グループGREEN21評価制度に従い活動	実施済
	森林の保全・緑化の推進	日立グループGREEN21評価制度に従い活動	実施済
	グリーン調達の実施	日立グループGREEN21評価制度に従い活動	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	ボイラーの待機運転の停止	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	空気圧縮機の待機運転の停止	実施済
	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001認証取得	実施済